<農林水産技術会議における評価の流れ>

要望調査 課題化 事前評価 中間評価 事後評価 追跡評価 \rightarrow \rightarrow \rightarrow 新規に実施しよう 5年以上の期間に 試験研究が終了し 試験研究が終了し とする課題につい わたる課題につい た課題について、 た課題について、 て、予算要求前に て、3年目毎に実 終了年度に実施 終了後数年後に実 実施 施 <部会評価> ①貢献可能性 ①貢献度 ①必要性・貢献可 ①必要性・貢献可 ・試験研究、普及、行政から構 能性 ②計画の達成度 能性 成する専門部会で評価を実施 ②研究内容 ②進捗状況 ③成果の活用方法 · 評価課題は、部会長(各研究 ④①~③により総 ③成果の活用方法 ③今後の計画 所長)が決定 ④①~③により総 ④①~③により総 合評価 【根拠規程】 合評価 合評価 富山県農林水産試験研究評価実 施要領(第5の1) 富山県農林水産試験研究評価実 施要領運用基準(第2) <外部委員会評価> •大学教授、生産者、関係団体 同上 同上 同 上 上 等、県職員以外の有識者等か 同 ら構成する外部委員会で評価 を実施 ・評価課題は、農林水産総合技 術センター所長が決定 【根拠規程】 富山県農林水産試験研究評価実 施要領(第5の2)